

平成30年6～7月 各部会議事概要（経営課題順）

魅力あるまちをつくろう！部会 6月25日（月）…1～2

健康・福祉部会 6月26日（火）…3

教育・子育て部会 7月9日（月）…4～5

安全・安心部会 7月12日（木）…6

【参考】平成30年5～6月 各部会学習会議事概要（経営課題順）

魅力あるまちをつくろう！部会 5月28日（月）…7～8

教育・子育て部会 5月8日（火）…9

安全・安心部会 5月10日（木）・6月6日（水）…10～12

H30. 6. 25 魅力あるまちをつくろう！部会議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成 30 年 6 月 25 日(月)午後 7～9 時 東淀川区役所 3 階 304 会議室

出席者 魅力あるまちをつくろう！部会委員 7 名、他部会委員 1 名

議題 1 平成 29 年度運営方針自己評価について

- ・送付資料 2・3 に基づき説明

議題 2 平成 30 年度東淀川区運営方針の改定について

- ・当日配付資料 2 に基づき説明

議題 3 今後の取組みの方向性について

- ・当日配付資料 4・5・6 に基づき説明

ワークショップ

- (1) 「29 年度運営方針自己評価に基づいた課題について」
- (2) 「平成 30 年度東淀川区運営方針の改定について」
- (3) 「将来ビジョンを踏まえた今後の取組みの方向性」

(新たな担い手の発掘について)

- 地域貢献したいが、働いている世代は休日でも仲間内でしか集まれないのでできることが限られる。PTA 等の他の団体との連携がない。何ができるか、という議論の前にその土俵にあがっていない。できるものがやればいいとなると一握りの人がすることになり、仲間内しか連絡しなくなるため、他に情報がこない状態である。
- 豊新は保育園や介護の施設が多くある地域なので、それらの点々の活動をつなげる役割として地活が声かけて提案や協力してもらい、バザールのイベントをした。スタートは個人で活動していたボランティア活動が、地域で広げることができた。
- ボランティアや地域貢献をしたい、という人はいるが、実際どう参加していいかわからないという人がいる。その人たちをどう取り込んでいくか、埋もれている人をどう発掘していくか、が問題である。地域に住んでいる人以外にも広げて発掘していかないと煮詰まっていく。一部世代交代しているが、地域の役員枠で人を回していると高齢世代が多く、地域のボランティアに若い人・新しい人を取り入れて回る仕組みを作らないといけない。

「情報が無い・時間がないがボランティアに興味がある、という人をいかに取り組むか」という課題について、運営方針に取組みを記載しているところである。埋もれている人がこうしたら発掘できるのでは、という案を引き続きご提案願いたい。

(コミュニティ回収)

- 目的がよくわからないし、地域の方の理解が深まっているとは思えない。
- 回収してくれない等、問題があった時にどこにいったいいかわからない。
- コミュニティ回収でない、契約していない業者が一部マナーの悪い集め方をしているようだ。
- 制度が定着すると落ち着くが、出す方もわからないから、コミュニティ回収はこういう垂れ幕がある車という周知をし直した。

- ・地振・地活の連絡会議で説明させていただいたところであるが、環境局を中心とした支援チームがあるので説明に行くことも可能である。
- ・回収してもらえない場合、事業者との契約なので契約違反になるので環境局に連絡とっていただきたい。

(町会単位の集団回収)

- 町会が、時間・場所を決めて仕切っているところは財源になっている。町会が決めていないところはバラバラで分別できてない状態になっている。

(地域担当制について)

- 従来の地域担当制の活動に加えて、災害の時の避難所開設を取り組むことになったのか。
- スタンスが変わったことを地域は認識しているのか。
- 震災時の避難所開設の際、よく知っている職員の顔でなく、また連絡待ちばかりで受け身に映り心細かった。指示がなく不安な気持ちになった。

- ・災害の時の派遣が地域担当制のメインであり、避難所開設ができる程度に日ごろから顔見知りになり地域に入り込んでいこう、というスタンスに今年度から変更した。
- ・今まで地域担当制により職員が分野を問わずに入り込んでいたため、方向変更により急に変えにくいところもあるので、徐々にこのスタンスの変更が地域に浸透するようにしたい。
- ・地域担当制の職員は防災について今年度2回程度しか研修をしていないので、当日不安な部分があったかもしれない。
- ・区役所の課単位で地域を決めているので、今後は人が変わっても引き継ぎができるようにしたい。

(小学校のプールについて)

- 小学校の屋上にプールが設置されているが、地震の際、水が入っていて大丈夫か、という声が地域であった。

- ・避難所になる施設であり、大阪市としても耐震診断し補強しているので、水が入った状態で地震が起こっても大丈夫な構造になっている。

H30. 6. 26 健康・福祉部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時場所 平成30年6月26日(火)午後7時～9時 東淀川区役所3階304会議室

出席者 健康・福祉部会委員5名、府議会議員1名

議題1 平成29年度東淀川区運営方針自己評価

- ・送付資料2・3に基づき説明

議題2 今後の取組みの方向性について

- ・送付資料4・5・6に基づき説明
- ・「東淀川区がめざす新たな『いきいき百歳体操の場』」についてプレゼンテーション(当日配付資料2)

ワークショップ

- ・「29年度運営方針自己評価に基づいた課題について」
- ・「今後の取組みの方向性」

(29年度自己評価に基づいた課題について)

○先日の震災時の対応に要支援者のリストが活かされたか検証し、今後の課題として対応策を検討していただきたい。

- ・要支援者への連絡について今回の震災の対応の課題として認識しており、今後対応策を検討していく。

(新しい百歳体操について)

○現在実施している百歳体操も良い取組であるが、新しい百歳体操はさらに素晴らしい取組であると思うので積極的に進めてもらいたい。

○この取組は、介護予防・認知症予防という観点からも有用な取組である。

○運営場所の狭さや段差の存在などハード面の問題がある。また、専門的な資格を持たないボランティアで実施しているので、体の不自由な方が来られた時などに介助に戸惑うことが想定されるため、例えば地域包括支援センターの職員などの専門家のサポートがあればありがたい。

○サポーター養成講座に、体操の手技・手法だけでなく、安全に継続していけるように運営のノウハウについての内容も取り入れてほしい。

○取組を進めていくにあたり、保険加入も検討するべきではないか。

○本日の資料について、例えば障がい認定を受けている人が多いことが東淀川区の弱みともとれるような表現がされていたが、むしろ制度が浸透しているという点で強みであるという見方もできるため、表現を変更した方がいいのではないか。

- ・安全、安心に実施するために専門家によるサポート体制やハード面の問題について、地域の方の力を頂きながら、地域事情を踏まえながら取り組んでまいりたい。
- ・この取組を進めるうえで、保険等、運営上のリスク管理について考えていきたい。
- ・資料について、だれが見てもわかりやすい表現に変更していきたい。

(議員からの助言)

- ・今回の震災で、働いている世代の子供の安否確認に手間取ったことが盲点として認識している。
- ・大阪府は、高齢者だけでなく多様な世代が住み慣れた地域で住みやすく魅力あるまちにしていこうという視点で「スマートエイジング・シティ」という取組を進めており、東淀川区では淀まちステーションを拠点として環境を作っていきたい。

H30. 7. 9 教育・子育て部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時場所 平成 30 年 7 月 9 日(月)午後 7 時～9 時 東淀川区役所 3 階 304 会議室

出席者 教育・子育て部会委員 7 名、府議会議員 1 名

議題 1 平成29年度東淀川区運営方針自己評価

- ・送付資料 2・3 に基づき説明

議題 2 今後の取組みの方向性について

- ・送付資料 4・5・6 に基づき説明

ワークショップ

- ・「29 年度運営方針自己評価に基づいた課題について」
- ・「今後の取組みの方向性」

(29年度自己評価に基づいた課題について)

- 4・5 歳児就学前子育て支援事業について、虐待ケース等も増えているので、対象である 4・5 歳児だけではなく、他の年代にも積極的に関わりを増やしていくべきだ。
- こんにちは赤ちゃん訪問事業について、区民ニーズがさらに高まっているので今後も続けていくことが必要である。
- 絵本の読み聞かせ事業、ゲストティーチャー派遣事業、体験型食育推進事業など、今までの取組みが繋がって少しずつ発展していったのがよい。
- 子どもの居場所について、実施主体ごとに内容や回数などには違いがあるものの、広がりが出てきているので、地域でさらに広がり根付いたらよい。
- 中学生勉強会で中学生・高校生・大学生がお互いに関わることで、子どもの自尊心が高まるのではないか。

(今後の取組みの方向性について)

- 定期的に地域でそれぞれの地域の特徴に合ったコミュニティづくりのアイデア（例えば地域における図書館・自習室・食堂などの機能）を出していくことが大事。
- 大桐地域の「だいどうさん」キャラクターのように、地域のシンボリックなものを作って活用することにより、子どもたちの地域への愛着心が深まり、地域がまとまり活性化し、助け合い・思いやり・子どもの自己肯定感につながるのではないか。
- 要保護児童との関わりや非行の防止など、課題のある子どもたちと関わっていけるような事業がもっとある方がいい。
- 地域の中で子どもの居場所づくりをどう広げていくか、また行政がどのようにサポートしていくかということが今後の課題。
- 地域の会議に P T A が参加する、学校行事に地域の方に来てもらうなど、一部の地域では既に行われていることを、他の地域と意見交換・情報共有できるような場所があればいい。

- ・地域保健福祉計画に記載しているように公助には限界があり、自助・共助が今後求められてくる。
- ・事業について横の連携を密にして、地域がひとつに、東淀川区がひとつになるような仕組みを作っていきたい。

(議員からの助言)

- ・こんにちは赤ちゃん訪問事業は、出産後の親の孤立化という問題に対しての東淀川区が誇るべき事業であり、対象を4・5歳まで連続するとさらに価値が高い事業になる。
- ・今後は、「人とのちがいを認め合い、それぞれの子どもの特性に合わせて能力を押し上げる教育が重要であり、それが人間力の向上に繋がる。地域もそれぞれの特性に合った活動をしていくことが、地域力の向上に繋がる。

H30.7.12 安全・安心部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時場所 平成30年7月12日(木)午後7時～9時 東淀川区役所4階401会議室

出席者 安全・安心部会委員6名、他部会委員1名

議題1 平成29年度東淀川区運営方針自己評価

- ・送付資料2・3に基づき説明

議題2 今後の取組みの方向性について

- ・送付資料4・5・6に基づき説明

ワークショップ

- ・「29年度運営方針自己評価に基づいた課題について」
- ・「今後の取組みの方向性」

(29年度自己評価に基づいた課題について)

○各事業について取組を確実に実行し、すべて目標値を達成していることは評価できる。

(今後の取組みの方向性について～大阪府北部地震発生時の課題を踏まえて～)

- 自助について
災害時は自己の責任により自らを災害から守る必要があることを認識し、自助の取組をもう一度周知徹底することが必要
- 地域防災役員の参集や地域間の連絡体制について
防災リーダーが不在、町会長も仕事で、連合単位だけでは難しかった。区役所と地域が連携して体制整備する必要がある。
- 避難所・開設運営について
避難所が開設されたが、避難所がどこかわかってない人や開設されたことを知らない人が多い。地域住民主体の開設と運営について、日頃から事前学習のスケジュールを想定した訓練が必要である。
災害時にも避難所開設のアナウンスなど、青パトを走らせられると良かった。
- 地域での安否確認について
一部民生委員による安否確認があったが、気がついた人が動かないと声かけできていない。連絡体制が整わないと安否確認が困難であるため、区役所と地域とで連絡手段も含めてさらに深い対応というのが望まれる
自助がまず優先されて、それから共助という流れで、福祉施設の職員による協力もあったが、人数が少ない場合は対応できないところが出てくる。
- 通信機器について
通信について電話は制限がかかり、無線も活用できなかったが、ラインやNTT安否メール等災害時に有効なものを活用する方向性作りが必要である。紙に書いて掲示板に貼るのが効果的に周知できてアナログも有効であった。
- 児童生徒の安全確保について
学校と地域と区役所との連携不足が課題であり、また、災害発生後に児童を家に帰すという対応は、二次災害の観点から危険であったのでは。
- その他
阪急沿線は今回の地震で帰宅困難者が多かったので、帰宅困難者対策はJRの新大阪だけでなく阪急沿線も必要では。

- ・平成31年度を待たずして、今年度できるところは速やかに改善策も検討して取り組んでいかなければならないと思っている。課題対応について整理して検討してまいりたい。

H30.5.28 魅力あるまちをつくろう！部会 学習会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成 30 年 5 月 28 日(月)午後 7～9 時 東淀川区役所 3 階 304 会議室

出席者 魅力あるまちをつくろう！部会委員 8 名

議題 1 平成 29 年度運営方針自己評価について

(様式 2 1-1-2 地域を担当する職員の e ラーニングについて)

○地域を担当する職員の e ラーニングの内容について、例えば「地活協って何？」ということなどを、クイズを待合で流したりすることにより地活協の PR に活用できるのではないか。

(様式 2 6-1-2 窓口サービスの業務目標達成状況について)

- 受託者の満足度 96%は高すぎるのではないかと？実際には窓口の対応がよくないと感じている人が身近にいる。
- 1 階の委託業者スタッフはサービスの一環として丁寧に対応していると認識しているが、2 階の福祉申請手続きをしていると区役所職員の対応がよくないように感じる。

(様式 3 取組項目 6 市民活動総合ポータルサイトについて)

- 最初の登録が面倒で、途中であきらめた経緯がある。
- 実際に登録しておく、月に 2～3 回、市内外問わず比較的若い人からボランティアしたいとメールの連絡が来るので、単発的にイベントにボランティア人材が必要な場合等はメリットがある。登録のしにくさを解消するため、Wi-Fi がある場所（例えば東中島の区民会館）で登録のセミナー会等開催できないか。

- ・地域活動協議会については登録しやすくなった、と大阪市から通知が来ていた。
- ・いただいた提案について今後検討していく。

議題 2 主な事業概要について

- ・東淀川区魅力発見プロジェクトについて
- ・BCP の取り組みについて
- ・平成 29 年度大学連携事業概要報告および 30 年度予定について
- ・「We Love 東淀川」「異次元交流ライブ」について
- ・東淀川区民まつりについて

(魅力発見プロジェクトについて)

○参加者は歴史に関心ある人が多く、現在まち歩きのイベントが多くなっているが、東淀川検定など、まち歩き以外のイベントを考えていきたいし、みなさんも参加してほしい。

(区民まつりについて)

- 「今年、区民まつりがかわる」ということをもっとPRしてほしい。
- グラウンドの中で、模擬店・ステージ・盆踊り等していくのか。狭いのでは。
- 自転車置き場は豊里小学校を借りたらどうか。
- 公園のトイレだけでは足りないのでは。
- 高齢者以外には子どもに楽しめるものとして目が行きがちだが、子どもとは切り離れた形で若い人も楽しめるよう、アルコールを提供したり、バンドを呼んだり、婚活パーティーしたりしてみてもいいのでは。
- ステージについて、地域にたくさんあるダンス教室に声をかけたり、バンドを一般募集してみてもいいのでは。
- ステージを盛り上げて、ステージイベントを中心に、みこしの負担を減らしてほしい。
- 車の乗り入れができなかったり、公園には駐車場がないのでは。駐車場について市営住宅へ協力依頼してみてもいいのでは。
- そもそも実行委員の立ち上げから一般募集してみてもいいのでは。周囲で区を盛り上げるイベントに関わりたいという声を聞く。

- ・ 9月9日に豊里中央公園で開催されるが、内容については5月30日に開催される実行委員会等で今後決めていく。占用申請は遊具も含む公園全体で申請しているが、グラウンドの中だけで使用することになるかは実行委員会で決定していく。
- ・ トイレは仮設トイレや周辺施設のトイレ等検討していく。
- ・ 昨年パレードに参加していた団体に優先的に情報提供して今年度のステージ出演について確認しているところである。
- ・ PRについては、委託していないので直営でできる範囲でしていく。
- ・ 実行委員の方々はボランティアで地域に根差しずっと携わってきており、また、今年は区民まつりが大きく変わるので、目新しいものを柔軟に取り入れる余裕が今年はないかもしれない。

H30. 5. 8 教育・子育て部会 学習会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成 30 年 5 月 8 日(火)午後 7～9 時、東淀川区役所 4 階 401 会議室

出席者 教育・子育て部会委員 8 名、他部会委員 1 名、府議會議員 1 名

議題 1 平成 29 年度運営方針振り返り（修正版）について

議題 2 平成 30 年度事業実施状況について

- ・登校・登園サポート事業（こんにちは赤ちゃん訪問の継続、登校・登園支援の進捗、区と受託者の連携状況等）
- ・「4・5 歳児就学前子育て支援事業」の進め方改善等について
- ・新規保育施設開設について（出張所サービスステーション跡）
- ・「居場所」事業（事業者決定、2・3 月新設居場所）
- ・自尊感情向上（ゲストティーチャー事業のテーマ変更・業者決定、鑑賞教育事業の開始・業者決定）
- ・絵本読み聞かせ事業（業者変更等）
- ・中学生勉強会（居場所的な要素の拡充等）
- ・体験型食育（今年度予定等）

（ワークショップ）

- （4・5 歳児就学前子育て支援事業に関わり、）学校・家庭では、子どもが発達障がいの場合かどうか判別が難しいので、発達障がいの子どもとの接し方について、啓発・周知し、相談しやすくすれば。
- 不登校の課題もあるがなかなか解決できない。居場所づくりをしているボランティア側の支援をしていくことも大切。
- 中学生勉強会とあるが、中学生からでは遅いので小学校の高学年から参加できる機会がある方がいいのでは。
- 中学生勉強会に参加している子がまだ 20 名と少ない。グループ指導にしてもいいのでは。
- 読み聞かせの実施だけでなく、読み聞かせのボランティアの養成もしている。切れ目なくひろげて、取り組んでいただいているのでありがたい。
- 子どもの貧困について、『家に朝ごはんがないのが当たり前』という子どもがいるが、子ども食堂などを通じて、それが当たり前ではないと感じ取る場を与えてあげたい。健全な生活習慣、生活に触れる中で、みんながつながる形にもっていきたい。

・（中学生勉強会）

小学校の高学年からの参加：予算等があるので確約はできないが、ご意見や課題を課内で共有し前向きに検討したい。

参加人数：毎年この時期は、中学 3 年生が卒業したばかりで、新しい生徒の受け入れを始める時期、これからケースワーカーなどを通じて参加を促したり、1 階のくらしのみより相談窓口でもアウトリーチをしたりしていき、今後、人数は増えていく見込み。

グループ指導：自尊感情や自己肯定感が低く、学習意欲の低い生徒に対しては丁寧な寄り添いや個々のレベルに合わせた学習支援をマンツーマンで行う必要があると考えている。

H30.5.10 安全・安心部会 学習会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成30年5月10日(金)午後7時～ 東淀川区役所4階401会議室
出席者 安全・安心部会委員7名、他部会委員1名、東淀川消防署1名

議題1 平成29年度 東淀川区運営方針の振り返りについて 平成29年度の取り組みについて

議題2 防災意識が高いまちに向けた地域の防災の取り組み(イメージ)たたき台について
地域防災の取り組みを「めざす状態に向けた課題・取組」の各項目別に分けて、ステージごとの取り組み状況に分けて説明。※資料参照

【ワークショップ】

各項目のステージ1からステージ2に進むための課題について、意見を出し合うためのワークショップを実施。今後の学習会において、ワークショップで出た課題を参考にしてステージ2の具体的な取り組みを議論することを確認。

防災意識が高いまちに向けた地域の防災の取組(イメージ) たたき台

| 防災・減災の取組 | めざす状態 | めざす状態に向けた課題・取組 | ステージ1 | ステージ2 | ステージ3 |
|--------------------------|--|---|---|---|--|
| 4-1-1 【区民の防災・減災の意識向上】 | 地域住民の防災・減災意識が高まり、自助の取り組みが促進されている | (1) これまで地域防災活動に関わりの薄かった住民の参加促進 | ①地域の防災訓練等のチラシなどの作成を工夫している。 ②防災活動(案内や実施報告等)を地域の広報紙、回覧板や掲示板などに掲載し、周知している。 | ③防災訓練等の機会を通じて自助・共助の意識を高め、町会加入の促進を図っている。 ④防災訓練への参加の呼びかけをICT(SNSなど多様な媒体の活用)を活用したり、さまざまな活動主体間で連携・協働したりしている。 | ⑤地域防災活動に関わりの薄かった住民が参加し、防災におけるつながりの重要性を実感してもらえるような取組を工夫して実施している。 |
| | | (2) 小・中学生の防災・減災意識の向上 | ①学校における避難訓練等において、地域が関わっている。 | ②学校と地域とが連携して防災訓練等を実施できている。 | ③地域の災害特性を踏まえた地域ぐるみの防災・減災の取組を推進できている。 |
| 4-1-2 【地域防災・減災力の向上】 | 地域住民の防災・減災意識が高まり、地域主体の共助を基本とした取り組みが促進されている | (3) 地域特性を踏まえた防災活動の実施 | ①地域特性や防災課題の把握ができている。 | ②、③地域特性や防災課題に対応するための防災活動を実施できている。 | ④効果検証を行いながら、防災訓練の取組を継続的(毎年1回以上)に効果的に行っている。 ⑥避難支援のしくみづくりによる防災訓練を行っている。 |
| | | (4) 自主防災組織(地域活動協議会)による防災活動の促進 | ①地域で防災学習会(基礎知識、図上訓練、避難所運営学習)が実施できている。 ②地域で防災訓練(避難訓練、避難所開設訓練)が実施できている。 | ③区役所と地域と福祉避難所・区医師会が連携して防災訓練を実施できている。 | |
| | | (5) 地域間の連携・協働 | ①小学校下での避難所開設運営訓練が実施できている。 ②中学校下の地域間で防災に関する意見交換ができている。 | ③中学校下での防災訓練が実施できている。 | |
| | | (6) 災害時における避難行動要支援者への支援 | ①地域で避難行動要支援者の把握ができている。 ②災害時の避難支援につながる地域での見守りができている。 ③避難行動要支援者に関する学習会や訓練が実施できている。 | ④地域住民と避難行動要支援者が共に防災訓練に参加している。 ⑤地域において避難支援のしくみづくりができている。 | |
| | | (7) 大学、企業等との連携・協働 | ①企業が地域活動協議会に参画する機会が保障されている。 ②大阪成蹊大学と地域とが連携して防災活動が実施できている。 ③大阪経済大学と地域とが連携して防災活動が実施できている。 | ④企業の参画により、新たな取組や連携・協働ができている。 ⑤大学との連携による地域との防災連携・協働ができている。 | |
| | | (8) 防災訓練に参加するなど、自らの活動が実際に地域防災活動に寄与していると感じる防災リーダーの割合:70% | ①地域防災リーダーが災害発生時に活動するための訓練(消火器、可搬式ポンプ等による消火活動、救出・救護活動)を実施できている。 | ②地域住民が安全に避難できるように、災害時避難所への誘導訓練等が実施できている。 | |
| | | | | | ③地域防災リーダーとして地域の防災活動に参画し、地域住民の中心的存在として防災活動の役割が果たせている。 |

H30.6.6 安全・安心部会 学習会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成30年6月6日(水)午後7時～ 東淀川区役所4階401会議室
出席者 安全・安心部会委員10名、他部会委員1名、東淀川警察署2名

議題1 防犯の現状(犯罪状況等)について

議題2 交通安全対策について

議題3 平成29年度東淀川区地域青色防犯パトロール活動実施状況について

- ・東淀川区内の各地域別の活動実施状況について、「総運行回数」や「一人あたりの乗車回数」・「曜日別・時間別の運行回数割合」など説明

議題4 地域や事業者と連携した取り組みについて

- ・NPO法人榎本地域活動協議会「駅前での放置自転車をなくす実行委員会」、(株)ワコールホールディングス「西大路駅周辺を美しくする会」の活動など、取組みを紹介

【ワークショップ】

- 「青色防犯パトロール活動のより効果的な活動の促進について」(区運営方針4-3-1)
公助・共助の観点から課題・具体的取組について意見交換
- 「駅前周辺で地域や企業等と連携した自転車マナーの啓発活動について」(区運営方針4-2-1)
自助・公助・共助の観点から課題・具体的取組について意見交換